

高峰地区

心ゆたかな未来へ～ゆいの里 たかみね～

【2030年の将来像】

住民相互に助け合いの気持ちを持って「ゆいの里」を継承し、一人ひとりが生き生きと笑顔で輝く高峰の実現



【地区の概要データ】

(令和2年4月1日時点)

人口 男158・女148 計306 世帯数106 集落数5 高齢化率43%

【現状と課題】

- ・ 少子高齢化が進行
- ・ 高齢者のみ世帯の増加
- ・ 空き家の増加
- ・ 倒壊家屋の増加
- ・ 商店もなく買い物難民が増える
- ・ 未婚者が多く子供がいない
- ・ 少子化で学校もなくなる
- ・ 農業者の減少で耕作放棄地が増加しそう
- ・ 人口減で集落が維持できない
- ・ 豪雪地帯である

【地区の資源・宝物】

- ・ 白川清流の豊かな自然
- ・ そば畑とそば工房
- ・ ゆいの里プロジェクトで地域のまとまり
- ・ 山菜等豊かな農作物
- ・ 白川ダムの景観
- ・ 豊富な雪

【地区の将来像を実現するための重点事業】

事業概要	第4次総合計画との関係	地区の役割	行政の役割	場所
①白川沿いの環境整備と白川ダム利活用 (SDGs: 8、14、15、17)	継続・発展	周辺環境整備の町への提案 河川周囲の支障木伐採等の維持管理・保全 イベント開催、PR活動、ダムの調査 ワカサギの養殖技術研修・習得	西高峰橋架け替え 河川周囲の支障木伐採等の維持管理・保全 国・県への積極的なアプローチ ダム利用の交渉 許可申請の仲介	新西高峰橋周囲とダム湖
②地区間連携による蛭の棲む里づくり (SDGs: 4、15、17)	新規	場所の選定、生息地調査 他の地区と協力して蛭の養殖	地区間連携の仲介 先進地から講師を紹介 学校の授業等で紹介・活用	未定
③土地の有効利用による地域の活性化 (SDGs: 2、9、12)	新規・継続	場所の選定 ネット活用によるオーナー募集 棚田の再生 山菜の生産・加工技術の習得	農業体験希望者のリサーチ 資金等の支援 生産・加工技術指導者の紹介	高峰地区全体
④高齢者支援による安心・安全な地域づくり (SDGs: 3、10)	新規・継続	地区食改の協力を継続 依頼 送迎支援の組織づくり	資金等の支援	高峰地区
⑤克雪、利雪の推進 (SDGs: 12)	新規・継続	PR活動	PR活動 資金等の支援	多目的集会所周辺

【アクションプラン】

アクションプランのテーマ・内容	第4次 総合計画 との関係	実施時期	実施主体
1. 清流白川沿いの整備	継続	令和3～12年度	町・高峰地区協議会
人を呼び込むため、今ある物を利用した白川清流沿いの美化整備を進める。(支障木伐採) 河川敷に広場の検討 高峰そば工房付近の整備をし、いずれは散策ロード、サイクリングロードを作り、高峰地区を回れるようにしたい。(プランニングをし、2km、4kmと徐々に進めていく) その周囲には水仙ロード、桜の花見ができる場所作り、藤の花が見える環境づくりを進めていく。			
2. 白川ダム の利活用	新規	令和3～12年度	町、白川ダム 高峰地区協議会
ダムを利用したイベントの開催。中津川地区との連携も模索。 春～夏：水没林の遊覧船(ボート) 冬：可能であるならワカサギ釣り(ワカサギの養殖・放流)			
3. 蛍の棲む里づくり	新規	令和3～12年度	高峰地区協議会
蛍の棲む場所を調査し、最適地を確保する。蛍の繁殖を技術の習得と環境保全PR。			
4. 田畑の利活用	新規	令和3～12年度	高峰地区協議会
田畑のオーナー制度や体験農業などが出来ないかを情報収集し、地区に合った企画立案を実施していく。			
5. 山菜の生産と加工、わらび園の開設	継続	令和3～12年度	高峰地区協議会
わらび園を造成し観光客を誘致したい。(候補地の調査・検討) わらび加工品の製造販売を検討していく。			
6. 高齢者支援の組織づくり	新規・継続	令和3～12年度	高峰地区協議会 食改の皆さん
現在いきいきサロンを実施しているが、参加者が少ないため送迎をする組織を立ち上げて、多くの人が参加しやすくし、「元気で長生き」の地域づくりを目指したい。また食改の方々の協力で昼食を提供してもらいながら楽しい憩いの場を作りたい。			
7. 克雪・利雪の推進	新規・継続	令和3～12年度	高峰地区協議会
小野川温泉の《“かまくら”でラーメンを食べる》催しを参考にして、“かまくらでそばを食べてもらう”企画を検討したい。 まずはかまくら造りや誘客の手法を学び県外からも客を呼び込みたい。そして雪で遊んでもらうスノーモービル体験などもしてもらおう。			
8. 地域住民の交流支援	新規	令和3～12年度	町・高峰地区協議会
地区行事等に参加を促すため、ポイント制度を導入し、参加意欲を高めていく。 伝承文化を守りながら、住民全員参加の地域づくりを目指していく。 未婚者交流支援としては、地区の行事や協議会の行事、町の行事に参加してもらう声掛けをし、出会いの場を提供していく。(各行事について随時情報収集と発信をしていく)			

【地区間連携事業】

事業概要	連携地区	当該地区の役割
小さな拠点づくり	手ノ子地区	
白川沿いの整備とダムの利活用	手ノ子地区、中津川地区	連携事業の開催
蛭の棲む里づくり	町内で蛭に関する事業を展開している地区	先進地の視察・研修技術習得

【土地利用の考え方】

高峰地区は南北に長く、南に白川ダムがあり、地区の北の置賜白川沿い（下流域）に集落が散在する中山間地域であり、後継者不足の農林業に不安を抱え、少子高齢化が進み、地域環境の悪化も懸念されます。

また地域の集落機能が低下し、組織の再編も検討しなければならない状況下にあるのも現実です。

これらを踏まえた上で、地域の活性化を図るような計画を立てつつ、地域資源を生かし立地条件をも生かした、新たな地域づくりを進めることにより、誰もが安心・安全に暮らし続けられる「ゆいの里たかみね」を作っていければと思います。

そのためには今までと同じでは難しい面もあるため、先代からの知恵を生かしながら、新たな発想と新たな力で、祭りや行事、生活様式など継承できるもの、記録で残すものを選び分けながら地域に残していきたいものです。

農地の荒廃を止める手立てとしての基盤整備事業も検討しながら、将来へ残していける地域づくりも検討してまいります。地域の皆さんの経験と知恵を結集して達成しましょう。